

停電時の住宅用太陽光発電パネルの自立運転機能について

2018年9月6日に発生した北海道南西部を震源とする地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

ご自宅の屋根などに太陽光発電パネルを設置されている方は、停電時でも太陽光発電パネルの「自立運転機能」で電気を使うことができます。

自立運転機能の使用方法は、以下のとおりですが、メーカーや機種により操作方法が異なる場合もありますので、必ず取扱説明書をご確認ください。

<自立運転機能の使用方法>

- ①自立運転用コンセントの位置を確認する。
- ②取扱い説明書で「自立運転モード」への切り替え方法を確認する。
- ③主電源ブレーカーをオフにする。
- ④太陽光発電ブレーカーをオフにする。
- ⑤「自立運転モード」に切り替える。
- ⑥自立運転用コンセントに必要な機器を接続して使用する。
- ⑦停電が復旧した際は、必ず元に戻す。(自立運転モード解除⇒太陽光発電用ブレーカーをオン⇒主電源ブレーカーをオンの順で復帰)

ご不明な点があれば、設置業者もしくはシステムメーカーにお問い合わせください。

また、設置事業者、システムメーカーのホームページにも関連情報が掲載されている場合がありますので、そちらもご参照ください。